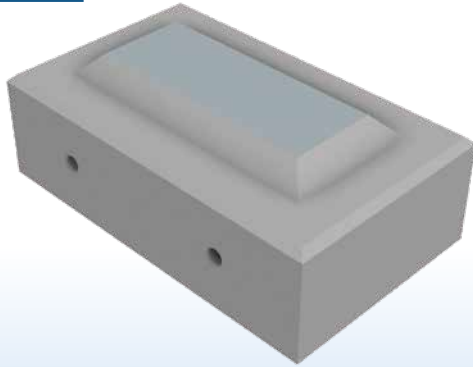


製品概要

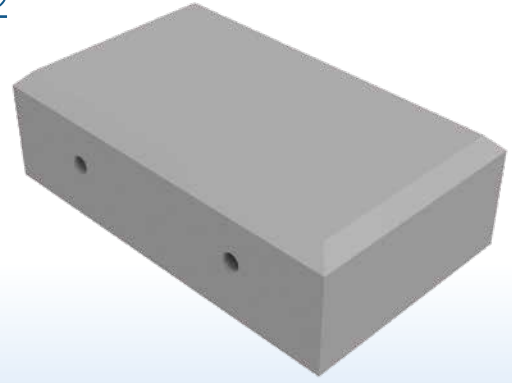
凸型ブロック / 平型ブロック

小型ブロックに鉄筋を通し一体化して敷設するため、地震や地盤の沈下などによる地盤の変動に柔軟に追随します。これにより、法面全体の変形や破損を最小限に抑え、長期にわたる安定した法面保護を実現します。

凸型ブロック



平型ブロック



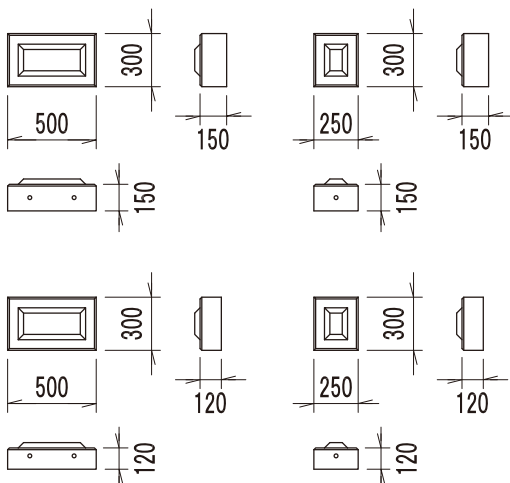
特長

- ◆ 製品に設けられた2つの穴に鉄筋を通すことにより一体護岸としての性能を発揮します。
- ◆ 中小河川や護岸の取り付け部として最適な製品です。
- ◆ 階段工周り、河川高水敷にも利用できます。
- ◆ 漏水対策や仮設堤防への活用が可能です。

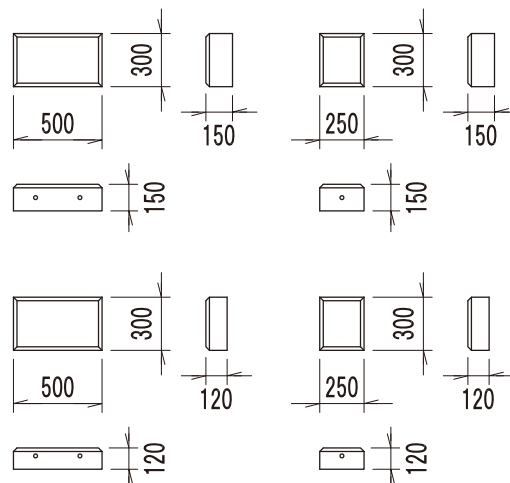


製品図面

凸型ブロック



平型ブロック

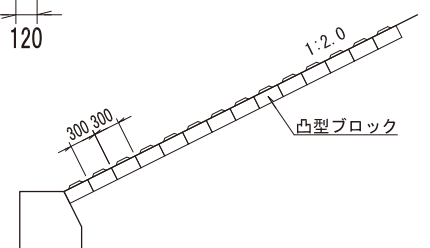


凸型ブロック

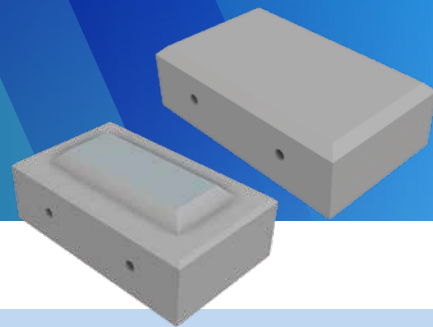
	寸法規格	参考重量(kg)
基本型	500×300×150	55
	500×300×120	45
半丁型	250×300×150	27.5
	250×300×120	22

平型ブロック

	寸法規格	参考重量(kg)
基本型	500×300×150	50.5
	500×300×120	40
半丁型	250×300×150	25
	250×300×120	20



凸型ブロック / 平型ブロック



1 製品の据え付け

- ◆ 施工用吊り金具はありません。
- ◆ 特別な専門工は必要ありません。
- ◆ 施工は半丁型を使用して、法長方向に千鳥配置で並べてください。
- ◆ 丁張りをを行い、製品の施工位置ラインを確認しつつ、安全に据え付けを行ってください。
- ◆ 据付時は製品で手足を挟まないよう十分注意してください。

2 製品の連結

- ◆ 現場によっては製品を鉄筋φ9mmで連結します。
- ◆ 設計図面に従って鉄筋を通し、加工した上で鉄筋同士を溶接し、一体化します。
- ◆ 下図の通り割付上部と下部に設けられた鉛直方向の鉄筋と水平方向の鉄筋連結部は間詰コンクリートで処理します。

参考：凸型ブロック

